

令和5年度

甲府一高進路だより

夏休み直前号（令和5年7月21日）

～2023夏を迎えて～

いよいよ夏休みがやってきました。準備は万全ですか？

皆さんは今までも何回もの夏休みを過ごしてきたわけですが、納得のいく形で終わったということがどれだけありましたか。無計画、無自覚のまま夏休みに突入し、終わってみると何も身につかず、挫折感だけが残るといった経験をしてきた人も多いのではないのでしょうか。



夏休みが失敗に終わる要因には次のようなものが考えられるのでは？

- ①特に何も考えず、自覚をもたないまま夏休みに入り、何となく夏休みを過ごしてしまう。
- ②やる気だけはしっかりあるのだが、具体的な計画を作らず、行き当たりばったりで学習しているうちに学習にメリハリがなくなり、いつの間にかやめてしまう。
- ③立派な計画を立てるのだが、無理な日程についていけなくなり途中でやめてしまう。
- ④しっかりした学習を立て、着実に学習を積み重ねていたのだが、旅行などの突発的な出来事をきっかけに学習から離れ、そのまま学習習慣が戻らなくなってしまう。あるいは課外・学習会まではしっかり計画通りに進めたが、家での学習に何となく身が入らず、そのままズルズル過ごしてしまう。
- ⑤部活動との両立を目指し、張り切って始めるのだが、夏の暑さの中で体力を消耗し、勉強まで体力がまわらない。秋になって涼しくなったら始めようなどと妥協してしまう。

思い当たることがあったら、こういう形にならないように注意を払って夏休みを充実させたいですね。

高校生の夏休みは、学年ごとに過ごし方の目的が違います。

1年生は、様々なことにチャレンジできる夏休みです。「私はこれを頑張った」と言えるように精一杯取り組みましょう。

2年生は、本物の実力の根底となるしっかりとした土台を作り上げる夏休みです。時間をかけて行うことができる数少ないチャンスの時です。

そして、3年生は、自分の生き方を大きく決定する可能性が高まる夏休みです。進路に向けて「焦らない」・「諦めない」・「あなどらない」姿勢で実力を蓄える時です。

<3年生の皆さんへ>

受験のための実力づくりの中で夏休みの重要性は今さら言うまでもありません。基礎力補強、実践力養成にじっくり時間をかけて取り組める最後のチャンスであることを忘れず、万全の態勢、覚悟で臨んでほしいと思います。全統記述やベネッセの共通テスト模試の結果などから皆さんの現状を見ると、苦手科目を克服できず、なかなか実力を伸ばしきれていない人が多いということやまだ、地歴公民・理科の学習に本格的に着手していない人がほとんどだということが分かります。これらのことは、夏休みに何をすべきかという、この夏の課題を示してくれています。

夏休みは、英数国3教科の応用力を身につけていくとともに理科・地歴公民の基礎固めをするこ
と、また、弱点箇所を克服することが学習のポイントになります。バランスよく、また自分の実力
に応じてメニューを組み、地道にこなしていきましょう。夏休みを正念場と考え、意志と覚悟をも
って制してください。

<2年生の皆さんへ>

しっかりとした土台作りのために具体的には、①課題を完全にこなすこと ②さらに自分の弱点
箇所(特に国数英3教科)を補強する、より進んだ学習を参考書、問題集、そしてClassiなどBYOD
を効果的に活用し進めていきましょう。今の自分に本当に必要な学習を積極的に展開していって
もらいたいと思います。自主的に何かやりたいのだが、具体的な取り組み方が分からないという人は、夏
期課外で教科担任に相談したり、夏期講座でポイントを教えてもらったり、『進路のしるべ』を
読み返し、卒業した先輩方の勉強法を取り入れてみたりしてください。

また、夏休みはオープンキャンパスに参加できるいい機会です。参加すれば、大学の雰囲気や講義
の内容など様々なことが分かります。大学の魅力を自分の目で確かめることでモチベーションがあ
がることも多いようです。

<1年生の皆さんへ>

入学からここまで、とにかく必死で学校生活に慣れるように努力を続けてきたと思います。
初めての定期試験は、中学校では考えられなかった順位にショックを受けた人もいたのではない
でしょうか。しかし、定期試験は順位を見るものではありません。皆さんの今の実力を見るもので
す。順位に一喜一憂するよりも、理解できていないところをしっかりと復習することが重要です。

この夏休みは、たくさんの自由な時間ができます。学習では夏期課外や夏期講座に積極的に参加
し、理解を深めることに力を入れたり、学習以外では今の自分を見つめなおし、将来のことを考

え調べたりすることに時間を使ってみてください。また、読書や様々な
世代の人に会うことによって、社会や世界の動きに目を向け、多様な生
き方や考え方を知ることも有効でしょう。何か一生懸命取り組んだこ
とは自信にもつながります。リアルな世界には、バーチャルな世界より
面白いことが転がっていますよ。

